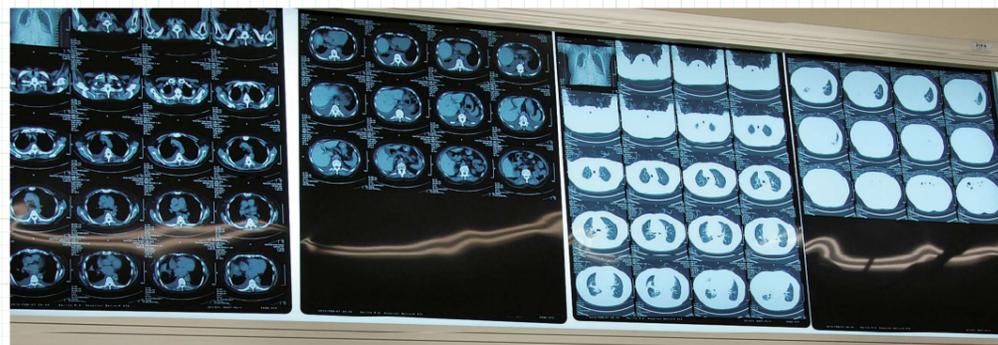


Japanese Red Cross Narita Hospital 消化器内科

当消化器内科は救急処置を必要とする急性の病気から肝炎、肝硬変、消化器ガンなどの慢性の病気まで幅広く対応する医療を心がけています。



消化器内科研修指導責任者
福田 和司

第一消化器内科部長

■研修指導医
第二消化器内科部長 / 鹿島 勲
消化器内科副部長 / 万代 恭史
消化器内科副部長 / 若松 徹

01 研修期間

3か月以上6か月以内

02 目的

内科学会認定内科医取得に十全な臨床知識および経験をつみ、内科医として見識と自己研鑽能力の基礎を作る。またその基礎の上に消化器内科医となる臨床経験をつむ。

03 到達目標

消化器内科で遭遇するcommon disease に対し、primary care としての対処を自らの判断で一通り施行できる能力を身につける。必要に応じて専門医に相談すべき病態か否かを判断することができる。

04 取得すべき手技

腹部エコー、胃内視鏡、注腸造影、胃管・イレウス管挿入、中心静脈栄養、希望により大腸内視鏡、エコー下穿刺手技(PTGBA など)

05 研修期間中に経験する疾患

消化管出血(食道静脈瘤破裂、胃・十二指腸潰瘍、大腸憩室出血など)、大腸炎(感染性、虚血性、憩室炎など)、急性腹症(消化管穿孔、虫垂炎、イレウス、急性胆嚢炎、急性胆管炎、急性膵炎など)、消化器悪性腫瘍(食道癌、胃癌、大腸癌、肝細胞癌、胆道癌、膵癌)、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)、慢性肝炎・肝硬変等の消化器疾患全般

